

令和5年度 森と水の源流館 ESD授業づくりセミナー 開催要項

1. 目的

水リスクは、気候変動リスクと連動する世界的リスクの1つとして、世界経済フォーラムの年次総会（通称ダボス会議）でも認識されており、水問題を教材としたESDは、水保全への教育的取組として重要である。そこで、奈良教育大学ESD・SDGsセンターと川上村森と水の源流館が協力し、「水の恵み」や「森林環境」に着目した授業づくりセミナーを開催する。森と水源流館スタッフによる自然環境保全の取組や水生生物などに関する情報提供、大学教員による単元デザイン作成に関する助言のもと、現職教員やESDを学ぶ学生が相互に意見交流しつつ指導案を作成することで、ESDを指導できる教員としての資質・能力の向上を図る。

2. 主催

奈良教育大学ESD・SDGsセンター、森と水の源流館

3. 会場

オンラインによる開催（第5回はハイブリッドでの開催を予定）

4. 開催日時と研修内容

- 第1回 令和5年6月24日（土）川上村及び源流館の紹介・ESDの授業づくりの基本
 - 第2回 令和5年7月 8日（土）優良実践事例の分析
 - 第3回 令和5年8月 5日（土）単元構想案の相互検討
 - 第4回 令和5年8月26日（土）学習指導案の相互検討
 - 第5回 令和6年2月 3日（土）授業実践報告会：森と水の源流館にて
- ※ 開催時間はいずれの回も10時～12時（オンラインにて開催）

5. 参加者

ESDティーチャー、マスター、スペシャリストの現職教員
近畿ESDコンソーシアム構成団体に所属する教員等
奈良教育大学の大学生・大学院生・教職大学院生
森と水の源流館 事務局長 尾上忠大 及びスタッフ
奈良教育大学教授 中澤静男
奈良教育大学准教授 及川幸彦、大西浩明
奈良教育大学研究員 杉山拓次 ほか